

# 低圧電気取扱業務特別教育受講報告

共通機器部門情報基盤機器管理班 松下 昌史

## 1. はじめに（目的等）

依頼先業務に於いてロータリーポンプ等各種真空機器の点検業務を行っているが、度々活線に近接して点検作業を行うことがある。取扱う電気設備の適切な配線状況の点検確認及び感電災害防止の観点から正しい電気の知識を取得する必要があるため当該講座を受講した。

## 2. 期間・場所

期間：令和4年10月25日～26日

場所：東広島地域職業訓練センター（東広島市八本松町吉川 5782-58）

## 3. 参加者等

3名

## 4. 研修内容

1日目：学科：8：45～16：30

1. 低圧の電気に関する基礎知識
2. 低圧の電気知識に関する基礎知識
3. 低圧用の安全作業用具に関する基礎知識
4. 低圧用の活線作業及び活線近接作業の方法

2日目：学科・実技：9：00～16：30

5. 関係法令
6. 低電圧取扱実技（電気使用設備としてアーク溶接機の取扱い体験）

## 5. まとめと感想

低電圧の電気に関する知識及び各種活線作業等、電気に関して初心者でも分かり易い内容の講義であった。参加者が小人数であったので、分からない部分は各自その都度質問するなどして理解に努めた。受講の目的であった作業者の感電防止に関して、災害事例などを交えた説明があり、点検作業で注意する部分が具体的に理解できたので有意義であった。

実技では電気使用設備としてアーク溶接機を用いた実技を行った。最初に講師から開閉器の操作及び溶接機の取り扱い方法の説明があり、実際に被覆アーク溶接を行った。最後に溶接をしたのは10年以上前であったが、体が覚えていたのでスムーズに溶接ができ講師からお褒めの言葉をいただいた。

今回の講座を受講して身に着けた知識を点検作業中の感電防止と取扱う電気設備の予防保全に生かしていきたいと思う。